

推進協だより

発行 沼田町伴地区コミュニティ推進協議会

特集号

発行責任者 川本一之

火山をバックに建つ沼田合同庁舎。1月4日に開館する



沼田合同庁舎が完成

1月4日開館 公民館・老人いこいの家・出張所

地域の活動拠点 積極的な活用を

広島市長 松井 一寛



平成25年9月から地域の皆様と本市で検討を重ねてまいりました沼田合同庁舎が、この度、落成の運びとなりました。これもひとえに多くの関係者の皆様の御理解とお力添えのたまものであり、心からお礼を申し上げます。

地域の皆様と本市で共に創り上げた沼田合同庁舎、愛称「火山館（ひやまかん）」が、沼田地区のランドマークとして地域の発展に寄与し、多世代の社会参加の促進につながることを期待するとともに、今後、この施設が皆様の活動の拠点となるよう、当庁舎を積極的に活用していただきたいと思います。

建設中だった沼田合同庁舎（広島市安佐南区伴東7丁目）が完成し、23日に落成式が開かれ、新年の1月4日に開館。沼田公民館、沼田老人いこいの家、沼田出張所の3施設が一斉に業務を開始します。

大塚・伴南、伴、伴東の3地区に戸山地区を加えた旧沼田町全体を対象エリアにした、地域のコミュニティの中心的な役割を担う新庁舎の誕生です。

落成式は23日午前10時に1階玄関付近で松井一寛広島市長、品川弘司安佐南区長たちによるテープカットで開始。10時30分から、3階の集客室に移動し、来賓約150人が出席して式典を開催。6年ぶりに復活した三城田神楽団による神楽、下向獅子舞で新庁舎の落成を祝います。

午前11時から、全館の見学会があり、地元の人たちに初めて公開されます。

新庁舎の外観は1階から4階まで「空と水と山の緑」をイメージしたカーテンウォール（ガラス張り）のモダンな造り。1階に住民が主体となって活用する「交流スペース」。エスカレーターを備えています。

回覧板箱は1月4日から3階で

12月初めから休止しています回覧板ボックスは1月4日の開館日から利用できます。

ボックスの場所は3階の沼田公民館受付の東側窓沿いの柱の所に設置しています。

ボックスの数は従来よりも4つ増えて28個。町内会別や各種団体別にボックスが用意されています。

各施設の開館時間・休館日・連絡先

階	施設名	開館時間	休館日
3・4階	沼田公民館 Tel082-848-0242 fax082-848-0242	8時30分から 22時まで	火・祝（火曜の場合はその直後の休日でない日）・8月6日・年末年始
2階南側	安佐南区沼田出張所 Tel082-848-1111 fax082-848-1111	8時30分から 17時15分まで	土・日・祝・8月6日・年末年始
2階北側	沼田老人いこいの家 Tel082-848-3277 fax082-848-3277	9時から17時 まで	火・祝・8月6日・年末年始

※住所はいずれも 〒731-3164 広島市安佐南区伴東七丁目 64 番 8 号



《沼田合同庁舎》

広島市安佐南区伴東7丁目の沼田公民館西側の安川沿いに建設を急いでいた。

2千8百平方メートルの敷地に鉄筋コンクリート4階建て、延べ床面積3千7百平方メートル。1階は地域のコミュニティ活動の場としての交流スペース。2階に沼田出張所と沼田老人いこいの家。3、4階が沼田公民館。エレベーターに加えて、地域の行政施設としては珍しいエスカレーターが付けられている。

駐車場は北と東の2カ所があり、合わせて58台収容できる。

この庁舎は安佐南工場の焼却能力4百トン化、西風館（火葬場）の伴学区内への建設を受けて、広島市が地元対策の目玉事業として計画した。総事業費は13億円。当初の開館は平成30年4月の予定だったが、工事に手間取って10カ月遅れとなった。旧公民館を解体し、沼田公園を平成31年夏までに整備して全体が完成する予定。

館内案内

沼田合同庁舎の愛称が「火山館（ひやまかん）」に決まりました。

愛称の作者は有馬義憲さん（安佐南区伴東3丁目）。「小学校の校歌にも『火山の緑美しく・・・』と歌われ、伝説にも伝わり、古くから地元に愛されてきた火山をのぞむ庁舎」という主旨。

伴地区コミュニティ推進協議会が新庁舎の愛称を募集。全部で37点の応募

愛称は火山館 ひやまかん



があり、選考委員会（委員長・北野尚人広島経済大学教授と地元の大学、高校、中学から推薦された学生・生徒11人で構成）で選考し、有馬さん作の「火山館」が選ばれました。

併せて、「火山館」と住居表示板にあしらわれている伴地区のマークを用いた「セットロゴ」も作成し、新庁舎に掲示しました。これは広島市立大のデザイナー・橋本英和さんに制作を依頼していました。

併せて、「火山館」と住居表示板にあしらわれている伴地区のマークを用いた「セットロゴ」も作成し、新庁舎に掲示しました。これは広島市立大のデザイナー・橋本英和さんに制作を依頼していました。



1階の交流スペースから2階に上がるエスカレーター

沼田合同庁舎（愛称「火山館」）は鉄筋4階建てです。各階が別々の施設や機能になっていて、上下の移動には階段・エレベーター・エスカレーター。3つの方法があります。各階の施設、機能は次の通りです。

【1階】交流スペース
東向きの正面玄関と北側の入口の主に2カ所から出入りできます。1階のフロアー全体が交流スペース。地域の人たちの交流広場としての活用が目的のスペースです。また、北側入口前に2台分の障がい者用駐車場が用意されています。

【2階】は階段がエスカレーター、エレベーターのいずれかで移動してください。3、4階へは階段かエレベーターで上り下りしてください（注意）

【3・4階】沼田公民館
3階は受付・事務所と図書コーナー、集会室、児童室、和室などがあります。

【4階】研修室と会議室



3階の沼田公民館受付



3階の児童室内部

館内飾るアート2大作品

太田川学園
寄贈・寄託

新年の正月明けに開館する沼田合同庁舎（愛称「火山館」）に2つのアート作品が展示されました。23日の落成式前に1階の交流スペースで除幕され、真新しい新庁舎に芸術の香りを漂わせ続けることでしょう。

社会福祉法人三矢会太田川学園の創立50周年記念事業実行委員会（委員長・内田健二太田川学園理事長）が「伴地区に学園が創立して半世紀を迎えた記念に」と贈られました。

作品は広島市立大学芸術



学部の伊東敏光教授（59）が顔写真が制作した石の彫刻「紺龍」と、太田川学園の利用者の横田勲さん（78）が描いた絵画「新・内山」の2点。

「紺龍」は新庁舎1階の西窓沿いに据えられています。材料はアフリカ産の黒御影石。高さは2・85メートルで、

内田理事長は「安佐、高



伊東敏光広島市立大教授の彫刻作品「紺龍」

伊東敏光教授
1959 千葉県生まれ
1987 東京芸術大学大学院美術研究科修了
1998 ドイツ・デュッセルドルフ美術大学に研究留学
2006～2007 文化庁新進芸術家海外留学制度により、アメリカ、ペンシルバニア大学芸術学部大学院にて在外研修。
現在、広島市在住、広島市立大学芸術学部教授。
2009 個展：伊東敏光展 -Liquidscape- 泉美術館（広島県）
／2016 「瀬戸内国際芸術祭2016」（香川県小豆島町）／2018 平昌文化オリンピック「FIRE ART FESTA 2018 -献火歌-」江陵鏡浦海岸（韓国江陵市）／2018 個展：FEI ART MUSEUM YOKOHAMA（神奈川県）。他、個展グループ展等多数。

「新・内山」は、庁舎1階エレベーターの横の壁面に飾られています。縦98・5センチ、横128センチの大作。京都芸術センターの演劇のメイキングビデオに採用された作品。太田川学園アート活動から生れた代表的な、個性あふれる絵画です。横田さんから広島市へ寄託されました。

「芸術で潤いを」と取り組んでいる「アートな伴クラブ」（秋野征治会長）の活動の中で構想が生まれ、新庁舎への展示が実現しました。



横田勲さんと絵画作品「新・内山」

横田勲さん
広島県出身。昭和15年生れ、所属は太田川学園高陽寮。
平成26年、「アール・ブリュット作品全国公募」に入選。
展示は平成27年2月、「ユートピアの創造主たち」大津プリンスホテルコンベンションホール淡海、平成30年4～6月「ハナサクモリの芸術家たち」泉美術館。